

令和4年6月28日（火）

第6回定例教育委員会会議録

我孫子市教育委員会

1. 招集日時 令和4年6月28日(火) 午前10時
2. 招集場所 教育委員会 大会議室
3. 出席委員 教育長 丸 智彦 委員 足立 俊弘
委員 蒲田 知子 委員 村松 弘康
委員 新山 訓代
4. 欠席委員 な し
5. 出席事務局職員
教育総務部長 飯田 秀勝 生涯学習部長 菊地 統
生涯学習部次長兼生涯学習センター長兼生涯学習課長兼公民館長 小林 裕
総務課長 森田 康宏 学校教育課長 鈴木 伸樹
教育相談センター所長 遠藤 美香 少年センター長 森谷 朋子
指導課長兼小中一貫教育推進室長 佐々木 祐子
文化・スポーツ課長兼白樺文学館長兼杉村楚人冠記念館長 辻 史郎
鳥の博物館長 木下登志子 図書館長 穂村喜代子
6. 欠席事務局職員 な し

午前10時00分開会

○丸教育長 ただいまから令和4年第6回定例教育委員会を開会します。

会議録署名委員指名

○丸教育長 日程第1、我孫子市教育委員会会議規則第31条の規定により、会議録署名委員を指名します。村松委員にお願いします。

議案第1号

○丸教育長 日程第2、議案の審査を行います。

議案第1号、我孫子市生涯学習審議会委員の委嘱について、事務局から説明をお願いします。

○小林生涯学習課長 議案第1号、我孫子市生涯学習審議会委員の委嘱について説明します。

提案理由は、我孫子市生涯学習審議会委員の任期満了に伴い、我孫子市生涯学習審議会条例第3条第2項の規定に基づき、我孫子市生涯学習審議会委員を新たに委嘱するため、提案するものです。

2ページ目、我孫子市生涯学習審議会委員候補者を記載しています。委嘱人数は、新任の6人を含めた14人とし、委嘱期間は令和4年7月1日から令和7年6月30日までです。なお、我孫子市生涯学習審議会条例において委員は15人以内で組織すると定められていますが、今回は第4号委員（公募の市民）の応募が1人のため、委員の人数が14人となります。以上です。

○丸教育長 以上で説明が終わりました。これより質疑を許します。質疑があれば挙手をお願いします。——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。議案に対する質疑を打ち切ります。

○丸教育長 これより採決します。

議案第1号、我孫子市生涯学習審議会委員の委嘱について、原案に賛成の委員は挙手願います。

(賛成者挙手)

○丸教育長 挙手全員と認めます。よって議案第1号は可決されました。

議案第2号

○丸教育長 続いて、議案第2号、我孫子市布佐中学校区の学校の在り方検討委員会委員の委嘱について、事務局から説明をお願いします。

○鈴木学校教育課長 議案第2号、我孫子市布佐中学校区の学校の在り方検討委員会委員の委嘱について説明します。

提案理由は、我孫子市布佐中学校区の学校の在り方検討委員会設置要綱第3条の規定に基づき、我孫子市布佐中学校区の学校の在り方検討委員会委員を委嘱するため、提案するものです。

4ページ目、委嘱人数は12人とし、委嘱期間は令和4年7月1日から令和6年6月30日までです。以上です。

○丸教育長 以上で説明が終わりました。これより質疑を許します。質疑があれば挙手をお願いします。

○足立委員 ついに我孫子市布佐中学校区の学校の在り方検討委員会委員の候補が挙がり、候補の方を拝見すると、適切な人選がなされていると思います。我孫子市布佐中学校区の学校の在り方検討委員会は、非常に大事な委員会になるとは思いますが、今後の進め方について教えてください。

○鈴木学校教育課長 お答えします。今年度の検討委員会会議は全3回を予定しています。第1回目は7月下旬、第2回目は年内、第3回目は令和5年1、2月を予定して現在調整しています。以上です。

○足立委員 これから生まれてくる子どもたちも含めて、布佐中学校区の子どもたちの未来を作っていく大切な委員会になると思います。十分に議論をしていただきたいと思います。ありがとうございます。よろしく申し上げます。

○丸教育長 ありがとうございます。

ほかに質問等あればお願いします。——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。議案に対する質疑を打ち切ります。

○丸教育長 これより採決します。

議案第2号、我孫子市布佐中学校区の学校の在り方検討委員会委員の委嘱について、原案に賛成の委員は挙手願います。

(賛成者挙手)

○丸教育長 挙手全員と認めます。よって議案第2号は可決されました。

諸 報 告

○丸教育長 日程第3、諸報告を議題とします。事前に配付された事務報告、事務進行予定資料などに補足する説明や追加する事項が5点ありますので、説明をします。

まず1点目、プール授業の実施状況について、お願いします。

○鈴木学校教育課長 今年度のプール授業の実施状況について報告します。

新型コロナの影響により、一昨年は中止、昨年度は感染状況や各学校の児童生徒数の違いを考慮し、実施については各学校の判断としていましたが、今年度は感染状況も落ち着いていることや、直近2年の経験から感染症対策も十分に取れることから、全校で実施となります。

また、昨年度から湖北台東小学校がプール授業を民間委託していますが、今年度はプール施設の改修が大規模改修になってしまうことから、我孫子第一小

学校、布佐南小学校の2校を加え、合計3校が民間委託となります。委託先は、湖北台東小学校、布佐南小学校がミナトスポーツクラブ、我孫子第一小学校はセントラルスポーツクラブです。以上です。

○丸教育長 プール授業の実施状況について、ご質問等あればお願いします。

○蒲田委員 民間委託をしている3校のプール授業は、どの時期に授業を実施する予定でしょうか。

○鈴木学校教育課長 民間の施設は温水プールのため、年間を通して授業を実施することができますが、他の学校と同じように1学期中に実施する予定です。

○蒲田委員 分かりました。ありがとうございます。

○丸教育長 ほかにありますか。——よろしいですか。

2点目、学校給食費負担軽減等の補助金について、お願いします。

○鈴木学校教育課長 我孫子市学校給食費負担軽減等補助金について説明します。

6月議会において追加補正を認められた我孫子市学校給食費負担軽減等補助金は、社会情勢の影響により、原油価格、物価高騰が続いている中、学校給食の食材費も高騰が続いています。そこで、保護者の負担軽減を図ることや、安価な外国産などに切替えをせずに従来どおりの地元産野菜や国産食材を主に使った安全・安心な給食を実施することを目的に、食材費の高騰に対する学校給食費の一部を補助するものです。

財源は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金です。補助額は、小学校で1食当たり20円、中学校で1食当たり25円とし、6月以降の150回を実施予定として、総額は2,815万5,000円です。以上です。

○丸教育長 説明が終わりました。ご質問等ありましたらお願いします。

現在、各学校の学校栄養職員が苦勞して給食を作っているなかで、学校給食の食材費の高騰を補い、給食の質を落とさず実施することや、保護者の負担を

軽減するために実施していきます。

それでは3点目、文化交流拠点施設のeモニターアンケートの集計結果について、お願いします。

○小林生涯学習課長 これまで文化交流拠点施設については、平成26年度に「我孫子市文化交流拠点施設整備調査研究業務報告書」公表し、その後、新たな視点や市民の方々から寄せられた意見等を踏まえて、整備する場合の施設の概要を3つのパターンに整理した「文化交流拠点施設建設構想(案)」を令和元年度に作成しました。文化交流拠点施設の建設には多大な費用を要するため、財政的な観点も踏まえながら、慎重に検討を進める必要があります。これまでは施設を利用することが見込まれる文化団体の方々を中心にご意見を伺ってきましたが、日頃の文化活動による施設利用の有無を問わず、幅広い層の市民の方々からご意見を伺うため、5月2日から5月15日まで実施したeモニターアンケートの結果について報告します。

まず、文化交流拠点施設の整備に向けた検討が行われていることの認知度については、「まったく知らなかった」という回答が最も多く、今後は、より積極的に情報発信を行う必要があることが分かりました。

次に、生涯学習や市民活動等でよく利用する施設は「生涯学習センター」が最も多く、利用する際の主な利用目的については、「生涯学習活動(趣味・サークル活動等)の場として」や「文化・芸術活動の鑑賞の場として」が高い割合を占めていました。また、施設の利用満足度については、約6割の方からおおむね満足いただいている結果となりましたが、施設や設備の老朽化や性能に関する不満や授乳やおむつ替えのためのベビースペースの設置、施設の存在の周知不足についてもご指摘いただきました。

次に、新たなホールの整備の検討を進めていくにあたり、特に重要だと思う機能については、「高齢者や障害のある方、乳幼児を同伴された方にも優し

い施設」という回答が最も高く、市外からの人を呼び込める交流機能としては、「カフェ・レストラン」や手賀沼沿いの立地を生かした機能が効果的と考えられる回答が多い結果となりました。また、コロナ禍における新しい生活様式を踏まえ、文化交流拠点施設の整備にあたっては、インターネットを活用したオンライン参加型イベントを開催できる環境整備が重要とされていることや「文化交流拠点施設建設構想（案）」で示している3つのパターンの整備案のいずれかで建設を進めるとした場合に、旧市民会館と同規模のA案（大規模ホール1000席＋小規模ホール300席）が我孫子市にとって最も適しているという結果でした。

最後に、市の財政状況を考慮したうえで、今後の文化交流拠点施設の建設については、「建設候補地を見直し、市役所新庁舎の建設に合わせて文化交流拠点と一体的に整備すべきである」という回答が最も多く、今後、文化交流拠点施設の整備の方向性について検討を進めていく上では、市役所庁舎との一体的な整備という視点についても併せて検討する必要があると考えられています。

○丸教育長 ありがとうございます。それでは、文化交流拠点施設についてご質問等ありましたらお願いします。——よろしいですか。

続いて、「夏期企画展 杉村楚人冠生誕150年年記念展示」及び「めるへん文庫」について、お願いします。

○辻文化・スポーツ課長 「杉村楚人冠生誕150周年記念展示 杉村楚人冠の青少年時代—名ジャーナリストの原点を探る—」を7月12日から10月2日まで開催します。

杉村楚人冠はジャーナリストとして知られていますが、実際にどのような子ども時代を送ってきたのか、その原点を探るため、色々な方々とのやり取りの書簡などを展示します。今回の企画展は学芸員の新しいアイデアで、見やすく分かりやすい展示を心がけて準備を進めてきましたので、ぜひご覧ください。

次に、「第21回我孫子市めるへん文庫作品募集」について、説明します。
今回で21回目となる「めるへん文庫」の作品募集を行います。5月22日に実施した子どもたち向けのワークショップの「めるへん学校」に参加した子どもたちも募集してくれることを期待しています。今後は、ワークショップで体験をした子どもたちが実際に「めるへん文庫」に作品を応募するという流れを定着させ、今後も広めていきたいと考えています。以上です。

○丸教育長 ありがとうございます。以上2点について、ご意見、ご質問等ありましたらお願いします。——よろしいですか。

最後に、「第90回企画展 手賀沼の鳥—環境と水鳥 いま・むかし—」について、説明をお願いします。

○木下鳥の博物館長 「第90回企画展 手賀沼の鳥—環境と水鳥 いま・むかし—」を、7月16日から11月27日まで我孫子野鳥を守る会と共催で開催します。

今回の企画展では、創立50周年を迎える我孫子野鳥を守る会が1977年から2020年までの44年間わたり、ほぼ同じ手法で毎月1回行ってきた水鳥のカウント調査の結果を基に、手賀沼の環境の変化に伴う鳥類の移り変わりについて、考察を含めたパネル展示を行います。

○丸教育長 ありがとうございます。ご質問等あればお願いします。——よろしいですか。

続いて事務報告に対する質疑に入ります。質疑があれば挙手をお願いします。

○蒲田委員 23ページの「7. 布佐宝保育園ステーションでのおはなし会」について、布佐宝保育園ステーションで市民スタッフの卒業生がおはなし会を行ったとありますが、布佐宝保育園の一室を借りて行っているのでしょうか。

○穂村図書館長 布佐宝保育園ステーションでのおはなし会は、図書館としても、初めて市民スタッフの卒業生にコーディネートしていただいたおはなし会

です。布佐宝保育園さんのご好意でお堂を使わせていただき開催しました。

○蒲田委員 参加者も多く、初めてにしては盛況だったと思います。また、市民スタッフの卒業生の方々が地域で活動してくださることはとても嬉しいことだと思います。ありがとうございます。

○丸教育長 ほかに事務報告についてご意見、ご質問等あればお願いします。

よろしいですか。——はい。

それでは、ないものと認めます。事務報告に対する質疑を打ち切ります。

次に、事務進行予定について質疑があれば挙手をお願いします。——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。事務進行予定に対する質疑を打ち切ります。

次に、教育事業全般について質疑があれば挙手をお願いします。

○村松委員 今年度から各学校において学校運営協議会制度が始まりましたが、今までの学校評議員会等では上がらなかった意見や、新しい方向性の議題は出てきているのでしょうか。

○佐々木指導課長 お答えします。今年度学校運営協議会は、第1回会議が終わり、第2回会議を各学校において近々予定しています。学校運営協議会制度が始まった中で大きく変わったところは、地域学校協働活動との連携についてです。学校運営協議会で話し合われた内容を具体的にどのように進めていくのか、各学校において地域の方や様々な立場の方からアイデアをいただき、挨拶や見守り活動などを子どもたちのためにどのような活動をしていくのかを再認識して、ともに活動を広げていこうと連携をとっています。

我孫子中学校では、学校運営協議会で話し合われた「CG作戦（クリーン・グリーン作戦）」について、地域学校協働活動推進員がコミュニティ・スクールだよりを保護者や地域の方に回覧し、今朝、実際に地域の方々がクリーン・グリーン作戦の活動を行っていました。以上です。

○村松委員 ありがとうございます。各学校によって置かれている状況や環境は多少違うと思うので、各学校の学校運営協議会で話し合い、学校運営をより良い方向に向けて活動ができるといいと思います。よろしくをお願いします。

○丸教育長 ありがとうございます。先ほどのCG作戦は子どもたちとはどのような関わりがあるのでしょうか。

○佐々木指導課長 学校運営協議会の中で、今まで学校内において学年ごとに行っていた朝の清掃活動を、地域の方も一緒に環境の整備をしていくのはどうかという意見があり、実際に地域学校協働活動推進員がコミュニティ・スクールだよりでお知らせしてくださいました。

○丸教育長 昨日、コミュニティ・スクールの先進市である市川市の校長先生をお呼びして、市内の各学校長を対象に、学校運営協議会への取組についての研修会を開催しました。研修会での内容を参考にしながら、一步一步進めていけたらいいなと思います。ありがとうございました。

ほかに教育事業全般についてご質問等あればお願いします。

○蒲田委員 4月から小学校高学年では教科担任制が始まり、3か月近く経過しましたが、教員の負担や児童の反応などについて教えていただけますか。

○鈴木学校教育課長 お答えします。本年度は教科担任制の加配として、各学校において違いはありますが、配置されている学校はその教科の担当教員が専門的に指導しています。配置されていない学校についても、高学年の担任同士で授業を交換して、一方の先生は理科を両方教えて、一方の先生は社会を両方教える交換授業を実施している学校もあります。授業準備の負担軽減や空き時間等の増加など、少しずつ担任の負担の軽減につながっていると考えています。

○蒲田委員 また課題も出てくるかと思いますが、もう少し経ってからまたお尋ねしたいと思います。ありがとうございました。

○丸教育長 我孫子市は、教科担任制にしても加配がない学校があるため、十

分に円滑に進めることはできていませんが、先ほど学校教育課長から説明があった通り、学級担任の交換などの工夫をしながら進めている状況です。教科担任制について、一番今苦しいのは教員不足のため、今後教員の魅力を発信することにより、教員を志願する方が増えていくといいと思います。

ほかにございますか。——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。以上で諸報告に対する質疑を打ち切ります。

○丸教育長 以上もちまして令和4年第6回定例教育委員会を終了します。お疲れさまでした。

午前10時38分閉会